

九年橋歩道橋が完成、開通式を行う

歩道橋が新設された九年橋の開通式は3月30日、同橋の鬼柳側で行われました。

九年橋は23年度に実施した橋梁の長寿命化に向けた調査で橋桁や橋面に老朽化による大きな損傷が発見されました。

今後とも長期的に利用することを見据え国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、24年度から修繕事業を実施。歩道の幅が狭く歩行者がすれ違う際に車道側にはみ出して危険だったことや交通量が多いことから、歩行者と自動車共に安全に通行できるように既存の橋を車道とし、歩道橋を新設したものです。27年7月に



渡り初めを行う関係者と地域住民の皆さん

開通式を行う

既存の橋の修繕が完了し、今回の歩道橋の完成により25年から3年間に渡る九年橋の修繕工事が完了しました。開通式には工事関係者約30人が出席。関係者でテ-

診療情報などの連携推進に関する事業を行うNPO法人を認証

特定非営利活動法人認証書交付式は7日、本庁舎で行われ、特定非営利活動法人岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会(小池博之会長)に認証書が交付されました。

同法人は医療・介護・福祉などの関係機関において、情報通信技術の活用により診療情報などの共有を行い、医療・介護・福祉サービスを安心して受けられる環境を実現することを目的に活動しています。現在、同法人は花巻・北上地域の病院・診療所のネットワークを構築中で28年度中の運用を目指しています。今後は第2段階として歯科、調剤薬局と、第3段階と

プカットを行った後、集まった地域の人たちと渡り初めを行い開通を祝いました。

修繕事業が完成した九年橋は、国道4号や県道の交通渋滞の解消を補完するとともに、今後も市内交通の円滑化や利便性向上の役割を担う橋として期待されます。

して福祉介護施設や行政などとネットワークを構築し連携を強化していきます。



高橋市長から小池会長に認証書が手渡されました

展勝地児童公園の改修が終了

オープンセレモニーを開催

展勝地児童公園オープンセレモニーは9日、同公園で行われました。セレモニーでは川岸保育園・立花保育園の園児らが合同でお遊戯を披露しオープンに花を添えました。

あずまや、トイレを整備し3月に完成しました。

同児童公園の整備は展勝地公園整備事業の一環で、関係団体や地域との協議を経て、27年4月から工事を開始しました。老朽化していた遊具を一新したほか、ゲートボールなどで利用できる多目的広場



集まった園児の前にオープンのあいさつを行う川勝裕都市整備部長

北上市地域貢献活動企業功績表彰式を開催

第8回北上市地域貢献活動企業功績表彰式は3月16日、市民交流プラザ催事場で開催されました。企業の皆さんが行っているまちづくり活動を広く周知することを目的に、市がまちづくり活動の功績を表彰しているものです。式では地域の貢献活動に顕著な功績があった企業に功績賞を、功績受賞の活動を5年継続した企業を功績継続賞として

表彰。また、活動に参加していた、いただいた企業に感謝状を贈呈しました。受賞した企業は次の通りです。

功績賞

- 北上信用金庫
- 北上地区電気工業協同組合
- (有)新江建設
- 東北電力(株)
- 花北営業所
- パンチ工業(株)
- 北上工場

功績継続賞

- 北上ハイテクペーパー(株)

北上市地域おこし協力隊

佐藤さんへ委嘱状交付

北上市地域おこし協力隊に就任した佐藤啓さん(39歳)への委嘱状交付は1日、本庁舎で行われました。

市は28年度より総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、地域活動に積極的な人材による地域おこし活動の推進と、隊員の定住および定着による地域活性化に取り組みます。協力隊として(一社)

北上観光コンベンション協会との協働事業で観光素材を売

りながら財政基盤を強化させる「北上市観光まちづくりプロジェクト」に3人、(株)北

日本リゾートとの協働事業で夏油エリアの古民家を活用し夏油の魅力を発信する「夏油高原エリア活性化プロジェクト」に一組2人を、順次委嘱

します。「北上市観光まちづくりプロジェクト」の隊員として活動する佐藤さんは、英国で修士号を取得し同国の雑誌編集



委嘱状を手に高橋市長と握手をする佐藤さん

者として勤務。帰国後は雑誌の編集長や地方都市の町おこしプロジェクトのコンサルティングなどを手掛けており、その多彩な経歴を市の観光まちづくりに生かしていきます。

「市長と話そう、まち育て」 タウンミーティング参加団体募集

市内で活動している団体の皆さんと市長が、日ごろの活動を通して気づいたことなどを気軽に意見交換する懇談会を開催しています。懇談の内容は、ホームページで公開するとともに、まちづくりへ生かしていきます。

▷と き…申込者の希望と市長の日程を調整して決定します。1回1時間程度を目安としています

▷ところ…団体の希望する場所または市役所

▷対象…市内で活動している団体、サークル、グループなど(3人以上の参加が可能な場合に限り)

▷申し込み…申込書に必要事項を記入し、郵送、ファクスまたはメールで広聴広報課へ。申込書はホームページ(<https://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014060202432/>)に掲載しています

※特定の個人や団体の要望を目的とするものは対象外です。また、報道機関が取材することがあります。

■問い合わせ…広聴広報課 ☎72-8229

市内の避難者状況

(3月31日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	11(-1)	25(0)	17(0)	9(0)
人数	4(0)	22(-2)	42(0)	31(0)	17(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	9(0)	10(0)	9(0)	92(-1)	
人数	11(0)	17(0)	19(0)	163(-2)	

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

あじさい都市の ライフスタイル



先般、東北大学主催の「未来の暮らし方を育む泉の創造」シンポジウムが伊勢志摩で開催され、講師として参加させていただいた。シンポジウムの趣旨は、2030年ごろのエネルギー不足、人口減少、食糧不足などのさまざまな環境制約下でも心豊かな生活を送ることができる、持続可能な「まち」をめざして、新しいライフスタイルを研究提案しようというものである。

本市では、未来の持続可能な「まち」の姿を「あじさい都市」と名付け、すでに公共交通の再構築やエネルギー政策、産産・子育て環境や連携型地域産業政策を展開しており、このシンポジウムの中で、めざしているライフスタイルを紹介させていただいた。

「あじさい都市」は16の地域コミュニティがそれぞれの地域資源を生かして輝き、活力を維持し続ける事が大きな狙いであり、どこでも多様なライフスタイルが選択できる事を理想としている。ポイントはいくつかあるが一つ目は職任近接であり、兼業を可能にし、時間的なゆとりと経済的な豊かさを生み出す。二つ目は三世代近居であり、子育て世代の負担軽減と地域教育力の向上を狙う。三つ目は楽しみ方の多様化であり、多様な自己実現を可能にする。四つ目は地域の食材を使った安全で豊かな食文化と健康。五つ目が「まち育て」で、地域においてライフスタイルに見合った居場所が見いだされる。

現在、当局が取り組んでいるライフスタイルデザインプロジェクトでは、さまざまなライフスタイルが提案されつつあるが、まだまだ一部の取り組みに過ぎない。今後、多くの市民の参加を得てこの取り組みを進める事によって「あじさい都市」から生まれるライフスタイルをもっと多様に、もっと豊かにしていきたいと考えている。